

『1980年から現在も続くハンセン病に関する報道および活動』 第56回ギャラクシー賞「報道活動部門」で大賞



民放・NHKを含む全国の放送局の番組などを表彰するギャラクシー賞の報道活動部門で、約40年にわたって続けているハンセン病に関する当社の一連の取り組みが大賞を受賞しました。

放送エリアである岡山県・香川県にある3つの国立ハンセン病療養所への取材を通じて、国の誤った強制隔離制作によって差別と偏見に苦しむ人々の声を40年間にわたって伝え続け、日本社会の排他性を問う稀有な報道活動であると評価されたものです。

RSK山陽放送では、今後もハンセン病問題の報道を地道に続けるとともに、療養所の世界遺産登録実現に向けて努力していきます。

以上

※当社は、2016年にもドキュメンタリー番組 RSK地域スペシャル「メッセージ」で大賞を受賞しています。

※ギャラクシー賞は、日本の放送文化向上に貢献した番組・人・団体に贈られる賞で、NPO放送批評懇談会が主催する、国内で最も権威のある賞とされています。各部門で大賞、優秀賞、選奨、特別賞などが選出され、表彰は年1回行われます。